

起業希望者が 基礎知識学ぶ

多治見市でセミナー

東濃信用金庫のとうしん地域活力研究所は、第30回創業塾を多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開き、独立や起業に関心

のある会社員や主婦らが創業に必要な知識を学んだ。中小企業診断士の資格を持つ職員2人が創業の心構えや決算書の基本、損益分岐点について解説。「創業の動機を明確に持つ」「初期投資は抑える」「収支計画は家賃や人件費だけでなく、生活費や借入れの返済も考えておく」といったポイントを紹介した。

グループワークでは、受講者が環境分析やビジネスプランを発表し合った。創業塾は年2回開催。今回は多治見、可児、美濃加茂市を中心に接骨院や飲食店、不動産業といった多様な業種を目指す男女24人が受講した。(野中準二)



受講者が創業の基礎知識を学んだ創業塾Ⅱ多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール